

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

1	所管室課	人権政策室	事業名	DV防止対策事業
事業概要				
DV防止対策				
活動実績		年度	R2	R3
配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等のために、相談を実施した。合わせて、DV防止に向けた啓発をホームページやSNSを通じて発信した。 ・DVに関する相談件数 令和3年度…643件、令和2年度…857件、令和元年度…552件		決算額（千円）	722	607
		一般財源の比率（％）	41.5	25.1
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で相談件数が急激に増加したが、令和3年度に関しても過去5年の相談件数と比較すると増加傾向にあり、被害者の保護と自立に向けた支援を各々の被害者の状況を考慮し、適切に行った。 ・相談内容について、DV防止法の対象外の方や障がい、児童虐待等、様々な要因が複合し、複雑化した内容が増加しているため、関係機関とのより一層の連携が必要となっている。		
		評価の視点		
		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性		
		今後の実施計画の方向性・内容		
		継続		
		引き続き、関係機関と連携し、個別に適切な支援を行うよう、努める。		

2	所管室課	人権政策室	事業名	ダブルリボンプロジェクト基金積立事業
事業概要				
ダブルリボンプロジェクト基金積立				
活動実績		年度	R2	R3
ダブルリボンプロジェクト基金は、Wリボンバッジ等の売上金の一部のほか、企業や市民からの寄附金等を積立てた。 ・積立金 令和3年度…1,301,997円、令和2年度…1,501,063円、令和元年度…1,861,171円		決算額（千円）	1,501	1,302
		一般財源の比率（％）	37.5	33.5
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・近年、基金の取り崩し額が積立額を上回り、基金積立金は減少している。Wリボンマークの積極的な周知に努めるとともに、Wリボンプロジェクトの趣旨に賛同していただく企業等を増やす手法の検討が必要である。		
		評価の視点		
		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性		
		今後の実施計画の方向性・内容		
		継続		
		安定した運営のため、企業等への周知が必要である。		

3	所管室課	人権政策室	事業名	男女共同参画事業
事業概要				
男女共同参画プラン策定・推進、啓発				
活動実績		年度	R2	R3
(1) すいた男女共同参画プラン推進 吹田市男女共同参画推進条例に基づき策定したすいた男女共同参画プランを推進し、男女共同参画社会の実現に向けて意識啓発を図る。 男女共同参画審議会開催回数 令和3年度 1回 第4次すいた男女共同参画プラン 令和2年度施策実施状況年次報告 令和3年12月発行 (2) 男女共同参画苦情等処理委員会 市民からの男女共同参画に関する施策についての苦情や性別による人権侵害についての苦情相談に対して苦情等処理委員が適切かつ迅速に処理する。 令和3年度…0件、令和2年度…0件、令和元年度…1件 (3) 年に1回市報すいたに男女共同参画推進のための特集記事を掲載し、中学生向けの啓発冊子「エール」を市内中学生に対し配布し、啓発を行った。		決算額（千円）	2,344	499
		一般財源の比率（％）	100.0	100.0
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・男女共同参画意識の醸成には継続した啓発が有効であると考えられるが、SNS等の普及に伴い、市民や事業者に対し、有効な啓発内容や方法を検討する必要がある。		
		評価の視点		
		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性		
		今後の実施計画の方向性・内容		
		継続		
		審議会・関係室課と連携し、第5次すいた男女共同参画プランの策定を進める。		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

4	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター管理事業	
事業概要					
男女共同参画センター管理					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
新型コロナウイルス感染症拡大防止により人数制限を行っているため、令和元年度と比較して利用者数は減少した。 ・施設利用件数及び延利用者数 令和3年度 …利用件数2,934件、延利用者数32,167人 令和2年度 …利用件数2,171件、延利用者数25,838人 令和元年度 …利用件数3,292件、延利用者数68,446人 ※令和3年度臨時休館日数 54日 令和2年度臨時休館日数 134日		決算額 (千円)	30,755	28,926	
		一般財源の比率 (%)	94.2	92.4	■ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性
		施設の経年劣化に伴う維持管理については、計画的な修繕や設備の更新を行うなど適切な維持管理に努める。 また、当センターの認知度を向上させ、施設利用件数をあげるため、SNSをうまく活用し広報する必要がある。引き続き、感染症対策を行いながら市民が安全に利用できるよう施設管理を行う。			☐ 効率性
					☐ 公平性
			■ 持続可能性		
			今後の実施計画の方向性・内容		
			継続		

5	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター主催事業	
事業概要					
男女共同参画センター運営、男女共同参画センター主催講座等、男女共同参画センター保育					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
(1) 主催講座事業 令和2年度よりオンライン講座を開始し、多様な市民ニーズに応じた開催方法を行った。 令和3年度…講座数80講座、延開催回数132回、延受講者数5,171人 令和2年度…講座数58講座、延開催回数96回、延受講者数3,717人 令和元年度…講座数79講座、延開催回数139回、延受講者数4,912人 (2) 保育事業 ・保育スタッフ延活動人数 令和3年度…253人 令和2年度…80人 令和元年度…662人 ・保育回数 令和3年度…92回 令和2年度…28回 令和元年度…191回 ・延保育児数 令和3年度…255人 令和2年度…98人 令和元年度…923人		決算額 (千円)	20,813	24,956	※課題があるものは■
		一般財源の比率 (%)	99.8	99.6	■ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性
		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催が中止となった講座もあったが、オンラインを活用することで、これまで講座に参加しにくかった方など新たな受講者が増えた。 保育スタッフは、保育付き講座やスタッフが活動する時間の保育を担っており、今後も継続して保育スタッフを育成する必要がある。			☐ 効率性
☐ 公平性					
☐ 持続可能性					
今後の実施計画の方向性・内容					
					継続

6	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター啓発事業				
事業概要								
男女共同参画センター調査研究、男女共同参画センター啓発、男女共同参画センター情報収集・提供								
活動実績			年度	R2	R3	評価の視点		
(1) 広報事業 広報誌「ソフィア」の発行や、ホームページ、Facebook、Twitterの更新を随時行い、男女共同参画の意識啓発並びにセンターの事業の広報を行った。 ・ソフィア発行回数・部数 令和3年度…2回 令和2年度…1回 令和元年度…3回 (各回6,500部発行) ※令和3年度発行の100号のみ8,000部 ・Facebook投稿件数 令和3年度…102件 令和2年度…107件 ・Twitter投稿件数 令和3年度…83件 令和2年度…27件 (令和3年1月開設) (2) 調査研究事業 隔年で男女共同参画を推進するための課題について調査研究し、次年度に報告書を作成。 令和3年度は、「なぜ、男女共同参画は進まないのか?～男女共同参画センターの役割とこれからの課題～」のタイトルで専門家に原稿依頼。令和4年度に報告書にまとめて発行。 (3) 情報ライブラリー事業 ・図書貸出冊数 令和3年度…2,826冊 令和2年度…2,121冊 令和元年度…4,653冊 ・情報ライブラリースタッフ延活動人数 令和3年度…322人 令和2年度…144人 令和元年度…482人			決算額 (千円)	4,226	4,720		※課題があるものは■	
			一般財源の比率 (%)	100.0	100.0	☐ 市民ニーズ、社会的役割		
			事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性		
			FacebookやTwitterなどを活用し、センターの事業について発信を行っている。今後もタイムリーな投稿を発信していく。 センターの認知度を上げていくため、SNSなども活用し、施設利用者や情報ライブラリーの図書貸出冊数を増やしていくことに繋げていく。			☐ 効率性		
						☐ 公平性		
			☐ 持続可能性					
			今後の実施計画の方向性・内容					
			継続					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

7	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター相談事業	
事業概要					
男女共同参画センター相談					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
女性のための相談を行う。新型コロナウイルス感染拡大防止等による休館中も相談事業は継続して行った。 ・電話相談件数 毎週月・金曜日10時～16時、水曜日10時～20時、土曜日13時～17時 （令和3年6月まで、毎週月・金曜日10時～16時、水曜日10時～17時） 令和3年度…629件 令和2年度…425件 令和元年度…396件 ・悩みの相談件数 毎月第1・4火曜日、第2・3土曜日10時～14時35分 1人50分4枠 火曜日午後は保育付き 令和3年度…153件 令和2年度…149件 令和元年度…141件 ・法律相談件数 毎月第2土曜日 13時30分～17時 1人30分7枠 令和3年度…55件 令和2年度…44件 令和元年度…58件		決算額（千円）	2,546	3,772	
		一般財源の比率（％）	100.0	80.9	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 令和3年7月から、電話相談を毎週水曜日午後5時までを午後8時までで延長、毎週土曜日の相談日を新たに設定し、相談機会の拡大に努めた。 悩みの相談はニーズが高く、相談まで1か月半以上の日数を要するため、待ち日数の解消が課題である。			
拡充					令和3年7月から拡充した電話相談について引き続き拡充を行う

8	所管 室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	DV防止対策事業	
事業概要					
DV防止対策					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
(1) DV相談事業 毎月第1・2・3・4木曜日 10時～14時35分 1人50分4枠 午後は保育付き ・DV相談件数 令和3年度…120件 令和2年度…116件 令和元年度…103件 (2) デートDV予防啓発事業 ・出前授業実施校数 中学生 令和3年度…13校 令和2年度…7校 令和元年度…9校 高校生 令和3年度…2校 令和2年度…2校 令和元年度…2校 大学生 令和3年度…2校 令和2年度…1校 令和元年度…3校 (3) 小学生いじめ暴力予防啓発事業 ・出前授業実施校数 令和3年度…7校 令和2年度…5校		決算額 (千円)	3,261	3,178	※課題があるものは■
		一般財源の比率 (%)	35.6	41.7	■ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性
		相談全体としては件数が増えているが、DV相談については予約が埋まらないことがある。DVについての啓発を今後も進めて、DVの支援が必要な人を相談に繋げていくことが課題である。 中学生・高校生・大学生を対象にデートDV予防啓発出前授業を小学生を対象にいじめ暴力予防啓発出前授業を実施した。			☐ 効率性
					☐ 公平性
			☐ 持続可能性	今後の実施計画の方向性・内容	
			拡充		
			デートDV予防啓発事業		

	所管 室課		事業名		
事業概要					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）			※課題があるものは■
		一般財源の比率（％）			☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
					今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名